

学校経営推進費 評価報告書（最終）

1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立長尾高等学校 全日制の課程
取り組む課題	生徒の希望する進路の実現
評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国公立大学合格者、難関私立大学（8私大・15私大）のべ現役合格者数の増加 ・ 医療看護系大学及び専門学校合格率の維持・向上 ・ 就職内定率100%維持、公務員試験合格率の向上
計画名	「学びの改革」プロジェクト1

2. 事業目標及び本年度の取組み

学校経営計画の 中期的目標	<p>1 確かな学力の育成と進路実現の支援</p> <p>（1）授業力の向上と確かな学力の育成</p> <p style="padding-left: 20px;">イ 主体的・対話的で深い学びを実現できる授業づくりを進める</p> <p style="padding-left: 20px;">ウ 大学入学者選抜改革を踏まえ、社会で自立するために必要な基礎学力を育成するとともに、生徒の学習習慣の確立を図る</p>
事業目標	<p>多様な進路希望の実現に向け、『知識・技能』を生かした『思考力・判断力・表現力』を育成し、小論文・プレゼンテーション・面接等でもそれらの力を発揮できるようにすることが喫緊の課題である。</p> <p>本事業により『進路学習室』を整備し、「進路実現の支援」をより一層充実させ、生徒が意欲的・主体的・協働的に学習に取り組み、上記の力と自信を持たせることで進路実現につなげる。</p> <p>◆『進路学習室』の整備</p> <p>（1）『進路学習室』の有効活用</p> <p>① 黒板を撤去し、前・横・後面をホワイトボード化し、プロジェクターの投影、教室の分割活用を可能にする。</p> <p>② Wifi 環境を整えタブレットを配備。調べ学習、学習支援ツールを利用した自学自習への活用につなげる。</p> <p>（2）ICT 機器の活用・工夫による学びの充実</p> <p>① 短焦点プロジェクターを設置し、「視覚・聴覚に訴える教材」の活用により、生徒の思考・理解を深める。</p> <p>② プロジェクター機能付きビデオカメラによる映写、書画カメラやプロジェクターによる投影により、複数のコンテンツをレスポンス良くホワイトボード上に提示し有機的に活用することで、生徒の気づきや理解を深める。</p> <p>（3）「主体的・対話的で深い学び」の実現</p> <p>ホワイトボード仕様のパーテーションを適宜活用しグループ学習を行う。録画したプレゼンや面接をもとに、生徒が自身の発表や言動を客観視して振り返り、討論しながらより良いものを模索する、他のグループの学びを共有するなど、「主体的・対話的で深い学び」につなげる。</p>
整備した 設備・物品	教室2面ホワイトボード設置（1室）、天井吊下げ式電子黒板機能付き短焦点プロジェクター（1台）、書画カメラ（1）、ノートパソコン、ビデオカメラ、三脚、パーテーション、タブレット型端末機、充電保管庫、無線ルーター、収納映写台

取組みの 主担・実施者	<p>主 担：「学びの改革」PT（主に進路指導主事及び情報科教員） 実施者：主に進路指導部 就職担当者、面接指導及び進路講習担当者、3年進路指導担当者、生物科教員</p>
本年度の 取組内容	<p>進路学習室の機能を活用した調べ学習、ガイダンス、講習・講座、プレゼンテーション、面接指導等の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン学習支援、ICT 機器の効果的活用に向けた教員勉強会を実施（4回） ・ G suite 導入に関する教員向け講習会を実施（3回） ・ 生徒1人1台端末の活用に向けた先行的公開研究授業（生物）の実施（11月） （生徒がグループ単位で iPad を活用して行う、調べ学習とプレゼンテーション） ・ 進学および就職対策面接指導の実施（6月から） ・ 大学受験英語リスニング対策講座の実施（10月から、昼休み・放課後）
成果の検証方法 と評価指標	<ul style="list-style-type: none"> ① 国公立大学合格者数：5名……………（0名） ② 難関私立大学合格者数：8私大30名以上・15私大95名以上……………（44名・104名） ：8私大 44名（立命1、同志社1、関西3、京産14、近大9、龍谷16） ：15私大 104名（上記以外に、摂南48、関外大7、追手門2、仏教1、大経大2） ③ 医療看護系大学及び専門学校合格率の維持・向上：…（大学80%、専門学校100%） ④ 就職内定率：100%維持……………（100%） ⑤ 公務員試験合格率：75%以上……………（今年度2名受験して合格者なし）
自己評価	<p>項目別に3年間（H30、R1、R2）の指標の推移を示して評価を述べる</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 国公立大学合格者数：0名→3名→0名……………（△） 昨年度は最後まで頑張った3名が合格した。今年度は新型コロナウイルス感染症や入試制度変更の影響で共通試験受験への指導が困難であった。 ② 難関私立大学合格者数 「8私大」：25名→7名→44名……………（◎） 「15私大」：95名→36名→104名……………（○） 昨年度は受験生の安全志向の傾向が顕著に現れた。今年度は人文ステップアップコース生徒を2年時から1クラスに集めた効果もあり、最後まで進路実現への高いモチベーションを維持しながら指導ができた。 ③ 医療看護系大学及び専門学校合格率 「大学」：78%→50%→80%……………（○） 「専門学校」：63%→89%→100%……………（◎） 今年度は早期から面接指導等を実施した効果もあり、指導を受けた生徒の合格率が向上した。 ④ 就職内定率：100%→100%→100%……………（○） 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で求人が減少したが、2月まで頑張って希望者全員内定を得た。 ⑤ 公務員試験合格率：30%→100%→0%（指標は75%以上）……………（△） 今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で外部の講習会や模擬試験に参加できなかったことが響いた。
事業のまとめ	<p>「進路学習室」の整備・活用について、総括と今後の展望を3点述べる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 設置した短焦点プロジェクターが授業・補習・研修等で活用され、多くの教員がその教育効果を認知したことにより、普通教室への短焦点プロジェクター設置の要望が高まった。予算措置が可能となり、今年度末までには全HR教室（18室）に設置されることとなり、次年度以降の授業改善につながることを期待される。 2 Wi-fi 環境を整えてタブレット端末を配備したことを受けて、今年度、調べ学習とプレゼンテーションに関する公開研究授業を実施したが、これが生徒1人1台端末の利用に向けた貴重な先行事例となった。次年度以降は、この経験を活かす取組みを進める。

	<p>3 進路学習室の環境は、グループ学習、ディベート、講習・補習、進学・就職対策面接指導、LHR、各種ガイダンスや説明会等、様々な取組みに有効ことがわかった。今年度はさらにオンライン学習支援の企画実施にも活用した。今後も新たな活用形態を模索することで、「主体的・対話的で深い学び」の実現をめざしていきたい。</p>
--	--